



連日の雨で石積みが一部崩落していた世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産・寺山炭窯跡(鹿児島市吉野町)が、土砂崩れで大部分が埋没し、ほぼ全壊したことが1日分かった。市は、一部を立ち入り禁止と

寺山炭窯跡 全壊

大雨による土砂崩れで崩落した「寺山炭窯跡」の石積みは1日午後0時50分、鹿児島市吉野町

鹿児島市 復旧見通し立たず

市教育委員会文化財課によると、炭窯北側の遊歩道上部で土砂崩れが発生し、炭窯(約26平方メートル)の大部分が埋まった。以前は長さ30〜40メートル、高さ約30メートルの凝灰岩が円形状に、8〜9段(高さ約2・5メートル)積み重なっていた。6月28日に一部崩落しているのが見つかった。30日夕は変わりはないが、1日午前9時に市職員が土砂崩

2019年7月2日付 27面

【問1】寺山炭窯跡が埋没し、ほぼ全壊したのはなぜでしょう。

連日の雨のため

【問2】埋没とほぼ全壊したために、市はどんな判断をしたのでしょうか。

一部を立ち入り禁止とした

【問3】28日はどんな様子だったでしょう。

一部崩壊しているのが見つかった

【問4】30日はどんな様子だったでしょう。

変わりがなかった

【問5】炭窯はどんな施設だったでしょう。

幕末薩摩藩の集成館事業で、高炉や反射炉を稼働するための燃料だった木炭を生産した施設

【調べてみよう】自然災害で壊れた世界遺産について、調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

崩落(ほうらく) = くずれ落ちること 遺産(いさん) 革命(かくめい) 炭窯跡(すみ・がま・あと) 土砂崩(どしゃくず)れ 埋没(まいぼつ) = うずもれて、見えなくなること 全壊(ぜんかい) 埋(う)まった 凝灰岩(ぎょうかい)がん = 火山灰(かざんばい)などが積み重なり、かたまってできた岩石 段(だん) 被害(ひがい) 確認(かくにん) 幕末(ばくまつ) 藩(はん) 高炉(こうろ) = 製鉄(せいてつ)にもちいられる、高さのある炉 反射炉(はんしゃろ) = 炎を炉の天井にふきあげて反射し、その反射熱で原料をとかす溶鉱炉(ようこうろ) = 鉄や銅などの金属を取り出すための大きな炉 稼働(かどう) = 機械を動かすこと 施設(しせつ) 慎重(しんちょう)

